るるぶ 特別編集

東京の真ん中で江戸ゆかりの歴史文化を満喫!

FREE

中央区 江戸めぐり

和の魅力満載♪
日本文化を体験!



商業と文化の中心地
中央区って
こんなところです!



一立斎広重『東都名所　日本橋真景
并ニ魚市全図』蔦屋吉蔵、国立国会
図書館デジタルコレクション

日本橋・京橋・八重洲

江戸城下の中心街としてにぎわった
歴史と伝統を感じるスポットが集結



人形町・浜町・東日本橋

江戸時代から続く老舗も多い
趣深い町を散策しよう



銀座

江戸時代に誕生した銀貨鋳造所が名前の由来
西洋文化の発信地として栄えた街



茅場町・八丁堀・湊

全国から物資が集まる港、商人町から
証券・金融の街へと発展



築地・新富

江戸時代に埋め立てられた
食文化を支える人気エリア



月島・勝どき

レトロな建物や路地裏散歩も楽しい
下町のウォーターフロント





マナーを守って楽しく観光!
旅のマナー

中央区ってこんなところです！

江戸文化発祥の地として栄えた歴史をもち、現在でも商業や文化の中心地である中央区。銀座や日本橋などをはじめ、伝統と現代が融合した町を楽しもう。

商業と文化の中心地

江戸の中央「日本橋」

中央区はかつて葦の茂る湿地帯だったが、天正18年(1590)に徳川家康が江戸に入って以降、城や町の整備が進み日本橋や京橋などの町人地が造成された。また、五街道の起点として日本橋が整備され交通の要衝となった。職人や商人の町も多く生まれ、江戸の中心として発展を遂げたのである。



↑1800年代前半に描かれた歌川広重による日本橋の様子

一立斎広重『東都名所　日本橋真景井二魚市全図』 蔦屋吉蔵、国立国会図書館デジタルコレクション

江戸歌舞伎発祥の地

町人文化発祥の地でもある中央区。江戸歌舞伎もそのひとつで、寛永元年(1624)、中村座が日本橋と京橋の中間あたりで興行を始めたといわれている。その後、芝居町として栄え、市川團十郎らの役者が活躍した。当時、庶民から武士階層までを魅了する文化の頂点だったのだ。



↑明治22年(1889)に開場した初代歌舞伎座。内部は日本風の檜づくり

瀬川光行 編『日本之名勝』史伝編纂所明33.12. 国立国会図書館デジタルコレクション

百貨店発祥の地

現在の日本橋は、日本有数の老舗やデパートが立ち並ぶ商業の中心地。その繁栄の基盤は1600年代末期～1700年代に築かれた。白木屋、三井越後屋、大丸などの呉服店のほか、今に続く名店が次々と誕生し、活気あふれる商売の町として栄えた。



↑当時の町を描いた絵にも三井越後屋(三越)の店章が残る

松亭金水 解説 ほか『絵本江戸土産 10編』[5],菊屋三郎[ほか]. 国立国会図書館デジタルコレクション

行ってみよう！ 中央区の商店街

商店街とは、通りに沿ってたくさんの店舗が並ぶ場所のこと。中央区には個性豊かな商店街が多数あり、銀座や築地などエリアごとに特徴があるので、ぜひ訪れてみて。35の商店会が加盟する中央区商店街連合会は、各商店会で連携を取りながら区内の商業振興を図り、活動している。



↑日本を代表する銀座(→P4)のショッピングストリート



↑人気の会席料理店・割烹 嶋村(→P6)



➲漬早高虎の布小物(→P8)



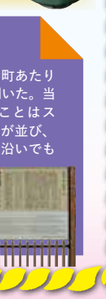


↑魚介類を楽しむなら築地場外市場へ(→P12)

➲塩瀬総本家 本店の上生菓子(→P10)



↑月島もんじゃストリート(→P14)



2025年の注目人物！ 蔦屋重三郎(つたやじゅうさぶろう)って知ってる？

2025年に放送している人気歴史ドラマの主人公である蔦屋重三郎は、日本橋でも活躍した人物。彼を知り、ゆかりの地を訪れてみよう。

Q 蔦屋重三郎は何をした人？

A 蔦屋重三郎（1750～1797）は、ベストセラー書籍を数多く発行した版元。喜多川歌麿など浮世絵師の発掘も行った。多くの本や絵をヒットさせ、江戸の文化の発展に貢献した人物だ。



吉原の芸者たちの名前を記したガイドブック「吉原細見」

「吉原細見」,蔦屋重三郎,[寛政7 (1795)] 序. 国立国会図書館デジタルコレクション

『青楼美人合姿鏡』は吉原遊女を描いた美人画集

(北尾重政（1世）,勝川春章/画)『青楼美人合姿鏡』上,山崎金兵衛,蔦屋重三郎,安永5(1776)刊. 国立国会図書館デジタルコレクション

Q どんな作品を手がけた？

A 吉原遊郭のガイドブック『吉原細見』、作家・山東京伝の名作『江戸生艶気樺焼』、浮世絵師・喜多川歌麿の美人画『高島おひさ』など数々のベストセラーを生み出した。

Q 日本橋との関係は？

A 現在の中央区日本橋大伝馬町あたりに「耕書堂」という書店を開いた。当時、日本橋に店を構えることはステータス。たくさんの商家が並び、浅草や吉原へ続く日光街道沿いでもあったため便利な場所だった。

➲日本橋大伝馬町13番地にある「耕書堂」跡

© KOSHODO Projects.



↑貴重な体験ができると人気の英語で行う外国人向けの体験コース

1500年の歴史をもつ香の文化を体感する

↑本格的な作法にならって香りを楽しめる

座香十 ざこうじゅう

☎03-6264-2450（香十 銀座本店） MAP P5C2

聞香炉(もんこうろ)で香木の香りを楽しむ聞香コース、香原料や精油から香りを選んで香り袋を作る調香コース、気軽に参加できる香りのつどいなど、日本の香り文化を体験できる。5種の香りを聞き、香木を当てる外国人向けのコースも開催。

住中央区銀座4-9-1 銀座香箱 交地下鉄銀座駅A12出口から徒歩3分

- 聞香コース：料金／1名3000円、所要時間／約60分、対象／小学生高学年以上、定員／3名
- 調香コース：料金／1名2500円、所要時間／約40分、対象／小学生高学年以上、定員／3名
- 香席体験（香りのつどい）：料金／1名4000円、所要時間／約60分、対象／12歳以上、定員／12名

※上記3種の体験の開催日時は予約サイトにて要確認。日本語対応のみ

- 香席体験（外国人向け）：料金／1名1万1000円、所要時間／約1時間30分、対象／12歳以上、定員／12名、開催場所／銀座香箱3階「香間 暁」、開催日時／毎月第2・4金曜14時～



↑間近で見学できるので、庖丁を研ぐ音やスピードも体感できる

購入した庖丁の仕上げ研ぎを見学

日本橋 木屋 本店 にほんばし きや ほんてん

☎03-3241-0110 MAP P7C2

寛政4年(1792)に日本橋で創業。店内には和・洋庖丁のほか、刃物を中心に料理道具などが並ぶ。本店では庖丁の購入時に仕上げ研ぎをサービスしており、スタッフが庖丁を研ぐ様子を目の前で見学できる。



↑江戸時代からの伝統を受け継ぐ和庖丁

住中央区日本橋室町2-2-1 COREDO室町1階 交地下鉄三越前駅A6出口直結 時11～19時（土・日曜、祝日は10時30分～） 休COREDO室町に準ずる

伝統の江戸文字で名前を書こう



↑見本を参考に一から自分で書くが、丁寧に説明してくれるので安心

➲仕上がりの色は8色から選べる。完成品は後日郵送してくれる(日本国内のみ)



津多屋商店 つたやしょうてん

☎03-3541-3741 MAP P13C3

太く、力強いデザインの江戸文字に挑戦！　書きたい文字が決まったら、職人である店主が見本を書いてくれるので、それを参考に自分で文字を書いていく。書き上がった文字は加工してポチ袋またはシールに。

住中央区築地6-5-5 交地下鉄築地駅1番出口から徒歩5分 時8～18時 休水・日曜、祝日

江戸文字を体験しよう 料金／1名3500円(ポチ袋4枚またはシール2シート、国内送料込み)、所要時間／約1時間30分、対象／小学4年生以上、定員／1～6名、開催日時／土曜10時30分・13時・15時

和の魅力満載♪ 日本文化を体験！

中央区ではさまざまな日本の伝統文化を体験することができます。ぜひ気軽に楽しんでみて！



日本発祥の伝統的な格闘技 “相撲”の稽古を間近で見学！

↑ぶつかり合う音も圧巻！



➲心・技・体を極めた力士の息遣いを間近で見学！

荒汐部屋 あらしおべや

MAP P9D3

優勝力士も在籍する人気の相撲部屋で、日々の稽古をガラス越しに見学！　鍛え上げられた肉体同士が激しくぶつかり合う姿は感動モノの迫力と美しさ。部屋内で見学できる英語ツアー（有料）も開催している。

住中央区日本橋浜町2-47-2 交地下鉄浜町駅A2出口から徒歩3分

荒汐部屋 相撲朝稽古見学 料金／無料、開催日時／開催日はHPを確認(https://arashio.net)、7時30分～9時30分ごろ

荒汐部屋 相撲朝稽古ツアー 英語の公式ガイド付き1万3000円

本格的な殺陣(たて)を学んで実践！ 忍者の世界を楽しむ

東京忍者剣術体験 とうきょうにんじゃけんじゅつたいけん

☎080-4116-5241（ICHIMILE） MAP P15D1

俳優を目指す人たちのアクション練習を見学して一緒に体験！　刀の正しい構え方やポーズ、斬り方など、忍者に必要なスキルを学ぶ。基本をマスターしたら2人組で実践練習！　熟練忍者の実演を間近で見学、忍者との記念撮影もできる。

住中央区佃2-15-3 古民家スタジオICHI（集合場所） 交地下鉄月島駅6番出口から徒歩2分

料金／1名(英語版) 3500円、(日本語版) 3000円、所要時間／約1時間、対象／10歳以上、定員／1～10名、開催日時／日曜10時～



↑木刀を使って忍者の動きを学ぶ





↑忍者と一緒に写真を撮ろう

銀座（ぎんざ）



江戸時代に誕生した銀貨鋳造所が名前の由来
西洋文化の発信地として栄えた街

ハイブランドのブティックや老舗デパートが立ち並ぶ、東京屈指のショッピングエリア。歴史ある老舗のショップや伝統芸能を上演する劇場もあり、日本独自の文化にふれることもできる。

㊤明治22年(1889)に開場。現在の建物は5代目



➡甘辛い味付けの揚げせんべい、歌舞伎揚 箱（10枚入り）1200円

日本の伝統芸能 歌舞伎の専門劇場

EDO SPOT

GINZA KABUKIZA
ぎんざ かぶきざ

☎ 03-3545-6800 MAP P5C3

江戸時代に誕生した日本の伝統芸能のひとつ、音楽と舞踊が一体となった演劇・歌舞伎の専用劇場。地下2階の木挽町（こびきちょう）広場では、オリジナルの菓子やグッズなども購入できる。5階には回遊式庭園があり、ひと休みに最適。

住中央区銀座4-12-15 交地下鉄東銀座駅3番出口からすぐ 時間休公演・施設により異なる



㊤劇場の屋根上に造られた緑豊かな庭園



㊤桜のようなほのかに甘い香りの線香・さくら1320円



㊤クローゼットなどに入れて香りを楽しむ、にほひ袋 金襴巾着1個880円

EDO SPOT

高品質な日本らしい文具やお香が揃う

東京鳩居堂 銀座店
とうきょうきゅうきょどう ぎんざてん

☎ 03-3571-4429 MAP P5C2

寛文3年(1663)創業の書画用品、和紙製品、日本古来の香り製品を扱う専門店。四季の草花などをあしらったレターセット、書道に使う墨や硯など、高品質な製品が豊富に揃う。

住中央区銀座5-7-4 交地下鉄銀座駅A2出口からすぐ 時11～19時 休無休（施設点検日など臨時休業あり）

㊤創業は京都。明治13年(1880)にこの地にオープンした



㊤1階は和紙工芸品や季節の商品、2階は線香、にほひ袋などを販売

美しき古典芸能・能を鑑賞

観世能楽堂
かんぜのうがくどう

☎ 03-6274-6579 MAP P5C3

江戸時代に幕府の式楽として定着したといわれる日本の古典芸能・能。創始者の流れをくむ観世流の公演を行う劇場。海外公演でも高い評価を得ている観世流ならではの、優美で繊細な舞や謡を鑑賞できる。

住中央区銀座6-10-1 GINZA SIX地下3階 交地下鉄銀座駅地下通路直結 時間公演により異なる ※公演日程は公式サイトを要確認 休月曜



➡能は面を付け、美しい装束をまとって演じられる歌舞劇のこと



㊤かつては屋外の舞台で演じられていたため、屋内の舞台にも屋根が造られている

EDO SPOT

100年以上にわたって愛される文房具専門店

銀座 伊東屋 本店
ぎんざ いとうや ほんてん

☎ 03-3561-8311 MAP P5C2

筆記用具からグリーティングカード、手帳などあらゆる文具が手に入る。なかでも優れた機能性とシンプルながら遊び心を感じさせるオリジナル商品は要注目。最上階にはカフェ＆レストランもある。

住中央区銀座2-7-15 交地下鉄銀座一丁目駅8番出口から徒歩1分、地下鉄銀座駅A13出口から徒歩3分 時10～20時(日曜、祝日は～19時)、レストランは11時30分～20時LO 休無休



➡手紙を書いて投函までできる、2階のWrite&Postコーナー

TrenD SPOT



㊤好きな長さでカットできる全面のりタイプのロール付箋、リーガルスティッキーロールメモ1540円

㊤赤いクリップの看板が目印

㊤オリジナルブランド、Helveticaの多機能ペン3in1各5500円。黒・赤ボールペンとシャープペンを搭載

TrenD SPOT

羊羹で知られる和菓子の老舗

TORAYA GINZA
とらや ぎんざ

☎ 03-6264-5200 MAP P5B3

京都での創業以来、5世紀にわたり和菓子を作り続けるとらや。選び抜いた素材を生かし、職人の技術によって生み出される和菓子は、まるで芸術品のよう。店内には、生菓子や甘味を味わえる喫茶と物販コーナーがある。

住中央区銀座7-8-17 虎屋銀座ビル4階 交地下鉄銀座駅A2出口から徒歩5分 時11～19時(喫茶は18時30分LO) 休第2月曜（祝日の場合は第3月曜）



➡店内のみで提供する季節の生菓子に飲み物が付くTORAYA GINZA限定生菓子2090円～



㊤店内席とテラス席がある



➡職人が目の前で和菓子を作るカウンター席(要予約)もある

食べる 買う 観光案内所 トイレ 喫煙所 コインロッカー 手荷物預かり所 交番

銀座観光案内所 GInfo
●ぎんざかんこうあんないじょ じーいんふぉ

☎なし MAP P5B2

グルメ、ショッピングなどさまざまな銀座の情報を提供。英語(日により中国語も)対応可。英語をはじめ各国語のパンフレットやマップもある。

住中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座1階 交地下鉄銀座駅C2・C3出口から徒歩1分 時10時30分～17時30分 休東急プラザ銀座に準ずる



テーマ別の街歩きマップも配布している

参考／中央区公式サイト

銀座エリアの商店会

Ⓐ銀座通連合会
●ぎんざとおりれんごうかい



銀座を代表するメインストリート

Ⓑ西銀座通会
●にしぎんざとおりかい



美しい柳並木が続く西銀座通り（外堀通り）は公園の藤棚再生や沿道の清掃活動を通し安心安全な街作りに取り組む。 環境維持のため美化委員会も活動

Ⓒ銀座 1-4 丁目並木通り会
●ぎんざいちーよんちょうめなみきどおりかい



並木通りは、銀座通りに次いで歴史ある通り。ファッション、飲食店の新店舗の数も増え、注目度が高い。 地下鉄銀座駅などから近い

Ⓓ松屋通親交会
●まつやとおりしんこうかい



「銀座ミツバチプロジェクト」をサポートするほか、街路の美化やイメージアップを目指し、日々活動中。 「銀座にふさわしい街づくり」を

Ⓔ銀座数寄屋通り会
●ぎんざすきやどおりかい



銀座5・6丁目数寄屋通りにある店舗や事業所などで構成される会。親しみやすい通りを目指している。 銀座の西の玄関口

Ⓕ銀座すずらん通り商店会
●ぎんざすずらんどおりしょうてんかい



銀座らしい気品を大切にしながら、活気あふれる街づくりを目指し、各種イベントを開催している。 歩行者天国になる時間も

Ⓖ銀座六丁目すずらん通り会
●ぎんざろくちょうめすずらんどおりかい



最先端ファッションを発信

Ⓗ銀座西並木通り会
●ぎんざにしなみきどおりかい



ハイブランドが揃う通り

Ⓘ銀座みゆき通り美化会
●ぎんざみゆきどおりびかかい



街路灯や街路樹などに工夫が凝らされ、華やぎにあふれた商店街に。秋～年末のイルミネーションも見事。 歩道や花壇に工夫がいっぱい

Ⓙ銀座花椿通り会
●ぎんざはなつばきどおりかい



毎月、早朝から清掃活動を実施

Ⓚ銀座ナイン出店者会
●ぎんざないんしゅってんしゃかい



新橋駅近くのショッピングセンター

日本橋・京橋・八重洲


重要文化財に指定された石造二重アーチ橋

江戸城下の中心街としてにぎわった歴史と伝統を感じるスポットが集結

江戸時代に日本橋が五街道の起点とされ、各地から人やモノが集まり活気にあふれていた日本橋・京橋・八重洲。今も江戸の文化や美意識を受け継ぐ、風格ある老舗を訪ねてみよう。




テーブル席やカウンター席のほか個室も完備

いくらと鮭、ひじきをごはんにのせた、名物ランチの錦丼1300円

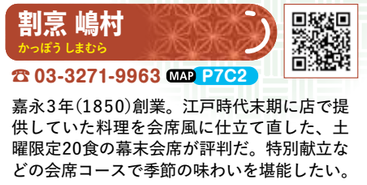
季節の食材を会席料理で楽しむ和の情緒あふれる老舗割烹

割烹 嶋村（かっぽう しまむら）

☎03-3271-9963 MAP P7C2

嘉永3年(1850)創業。江戸時代末期に店で提供していた料理を会席風に仕立て直した、土曜限定20食の幕末会席が評判だ。特別献立などの会席コースで季節の味わいを堪能したい。

住中央区八重洲1-4-10 東京建物八重洲仲通りビル1・2階 交地下鉄日本橋駅B0・B5出口から徒歩3分 時11時30分～14時、16時30分～21時LO（土曜は11時30分～13時30分、16時30分～20時LO） 休日曜、祝日


幕末会席6600円。うずら椀や蒸し玉子などが味わえる


千両箱、大入、隈取の桐箱のセット3960円。黒文字楊枝70本、辻占楊枝30本入り


矢羽根柄で縁起がいい黒文字楊枝袋入り1430円(100本)。千鳥柄や歌舞伎紋なども揃う

職人が一本一本手作りした黒文字を使った美しい楊枝

日本橋さるや（にほんばしさるや）

☎03-5542-1905 MAP P7C2

宝永元年(1704)に創業した日本で唯一の楊枝専門店。黒文字の木を用いた楊枝は手作業で丁寧に作られ、しなやかで弾力性があり折れにくいのが特長。極細の上角楊枝や桐箱入りなどが並ぶ。

住中央区日本橋室町1-12-5 交地下鉄三越前駅A1・A6出口から徒歩5分 時10～17時(土曜は12時～) 休日曜、祝日


300年以上の歴史を誇る。名前を入れられる木箱入りも人気

江戸時代からの製法で仕上げる、三角形が特徴の梅ぼ志飴648円(缶入り90g)

江戸の庶民に親しまれた伝統の和菓子をみやげに

榮太樓總本舗（えいたろうそうほんぽ）

☎03-3271-7785 MAP P7C2

江戸時代後期の文政元年(1818)に創業。安政年間(1854～1860)に誕生した看板商品の梅ぼ志飴をはじめ、日本橋魚河岸で人気を集めた名代金鍔や西河岸大福など、長年愛され続けてきた和菓子が揃う。

住中央区日本橋1-2-5 交地下鉄日本橋駅B9出口から徒歩2分 時10～18時 休日曜、祝日


入口中央の石畳は江戸時代に使われていたものという


ごま油で香ばしく焼いた丸型の名代金鍔324円


店内では餡を包む様子や名代金鍔の焼成などの実演を見学できる

香り豊かなごま油で揚げた江戸前天ぷらの名店

てん茂（てんも）

☎03-3241-7035 MAP P7C1

明治18年(1885)に初代が屋台から始めた江戸前天ぷらの店。春は白魚やフキノトウ、夏は鮎やアワビ、秋は栗の渋皮揚げなど季節の味が楽しめる。定番の天麩羅御飯は昼6600円～、夜1万3200円～。

住中央区日本橋本町4-1-3 交地下鉄三越前駅A10出口から徒歩5分、JR新日本橋駅4番出口から徒歩2分 時12～14時、17～20時(土曜の夜は～19時)※土曜の夜は前日までに要予約(2名から受付) 休日曜、祝日、8月の土曜


白ごまを煎ってから搾ったごま油で揚げた天ぷらは風味豊か


才巻海老と三つ葉のかき揚げはサクッとした口当たり


和の趣を感じる建物は昭和22年(1947)に建造

古美術店やギャラリーが並び新旧のアートに出合える

骨董通り（こっとうどおり）

MAP P7C4

日本橋・京橋界隈は戦後の昭和20年(1945)以降、古美術や工芸、日本画、彫刻などの専門店が増えていったエリア。日本橋から京橋へと続く東仲通りは通称「骨董通り」とよばれ、現在も老舗の古美術店や現代アートを展示するギャラリーなどが点在している。

住中央区京橋2丁目付近 交地下鉄宝町駅A5出口から徒歩1分


美術関連イベントも開催される


個性豊かな店舗が並び、アート散歩に最適



参考／中央区公式サイト

日本橋・京橋・八重洲エリアの商店会

A 東京中央大通会
●とうきょうちゅうおうおおどおりかい
大企業から個人商店まで加盟

B 室町大通会
●むろまちおおどおりかい
日本橋の北側、日本橋室町1～4丁目の中央通りに面した地域の商店、テナントからなる商店会。
歴史的建造物と老舗が集まる

C 日本橋北詰商店会
●にほんばしきたづめしょうてんかい
日本橋北詰でお買物・お食事を

D 日本橋二丁目通町会商店会
●にほんばしにちょうめとおりちょうかいしょうてんかい
日本橋2丁目、かつて通町とよばれた中央通りをはさんだエリアの商店会。会員の大半は法人や事務所。
各商店会と協働して活動

E 日本橋三丁目西町会・商店会連合会
●にほんばしさんちょうめにしちょうかい・しょうてんかいれんごうかい
中央通りをはさんで、八重洲通り、八重洲仲通り、さくら通り、美術骨董通りに囲まれたエリアの商店会。
下町の人情が残るエリア

F 八重洲一丁目商店会
●やえすいっちょうめしょうてんかい
東京駅八重洲口側に広がる。大型再開発ビルの建設が進む一方、路地裏商店街も残るエリアの商店会。
気品のある町を目指している

G 八重洲一丁目中商店会
●やえすいっちょうめなかしょうてんかい
外堀通り、八重洲仲通り、さくら通りに囲まれた一画の商店会。ビジネスマン御用達の飲食店がずらり。

TOKYO YNK MAP

八重洲・日本橋・京橋エリアの飲食店・物販店・アート・文化資産などを紹介するイラストデジタルマップ。誰でもWeb上で簡単にアクセスすることができる。

人形町・浜町・東日本橋



時を知らせる人形町のシンボル

江戸時代から続く老舗も多い趣深い町を散策しよう

江戸の町人文化が花開いた人形町に、武家屋敷街だった浜町、江戸時代から商人の町として賑わう東日本橋など、隅田川にほど近い、今も下町情緒が息づくエリア。

老舗・名店が軒を連ねる江戸の下町風情が残る通り

甘酒横丁（あまざけよこちょう）

☎03-3666-7662（甘酒横丁商店会）
MAP P9C3

和菓子店やそば屋など100年を超える老舗が立ち並び、江戸の下町の粋な雰囲気を今に残す通り。伝統的な製法を守り続ける江戸グルメを堪能したり、みやげ物を買ったり、歴史ある町並みで江戸の町人文化を感じたい。

住中央区日本橋人形町 交地下鉄人形町駅A2出口から徒歩1分 休休散策自由



↑通りに甘酒屋があったのが名の起源とされる

江戸職人の技と遊び心を効かせた、粋な染小物

濱甲髙虎（はまちょうたかとら）

☎03-3666-5562 MAP P9D2

江戸後期に創業した染物屋の技術を受け継ぎ、昔ながらの手ぬぐいや袋物のほか、現代的なTシャツやトートバッグなどの染色加工品を製造・販売。洒落や意味を絵柄に込めた、江戸っ子好みのアイテムが揃う。

住中央区日本橋浜町2-45-6 交地下鉄浜町駅A2出口から徒歩1分 時9～18時(土曜は～17時) 休日曜、祝日

↑青い布小物は、約150種も揃う鰹縞合財袋各4180円。6つの瓢箪=六瓢で「無病息災」、千客万来の「招き猫」、キセルの雨で「助六」、粋な千支柄の「巳梅結び」。奥は手拭手提袋「願掛け達磨」6050円


↑判じ絵(江戸時代に庶民の間で流行した目で見るなぞなぞ)の図案が書かれた見本帳や手彫りの型紙なども展示

→染物ならではの風合いが楽しめる布小物が種類豊富に揃う

江戸時代から愛され続ける昔ながらの甘味処

甘味処 初音（あまみどころ はつね）

☎03-3666-3082 MAP P9C3

天保8年(1837)創業の、東京で最古の甘味専門店。北海道産小豆を炊いた餡や沖縄の黒糖で作る黒蜜、毎朝つく餅など、厳選した国内産の材料を使って職人が手作り。茶釜で沸かした湯で淹れるお茶も美味。

住中央区日本橋人形町1-15-6 交地下鉄水天宮前駅8番出口から徒歩1分 時11時30分～17時30分LO 休火曜


↑白玉あんみつ1000円はもちもちの白玉がたっぷり！ 白蜜か黒蜜が選べる


↑あんみつなどはテイクアウトもOK。店名の「初音」は歌舞伎の演目に由来する

→木をふんだんに使った、レトロで落ち着いた雰囲気の店内

自然素材だけで職人が作り上げる江戸時代の嫁入り道具「つづら」

岩井つづら店（いわいつづらてん）

☎03-3668-6058 MAP P9C3

江戸末期創業の「つづら」の老舗。婚礼の際の収納道具として生まれたつづらは、ハレの日(特別な日)にふさわしい高級感のあるツヤと、美しい色合いが魅力。軽くて丈夫な上、修理も可能なので長年愛用できる。

住中央区日本橋人形町2-10-1 交地下鉄人形町駅A2出口から徒歩2分 時9時30分～18時 休日曜、祝日が不定休(要問合せ)


←小物入れつづら 各8250円。20cm大で、メガネや雑貨の収納に重宝する


↑柿渋や漆を塗るため、独特の光沢が楽しめる


↑大きなつづらから小さなものまでサイズのバリエーションが豊富

つづらってなに？

竹を編んだかごに和紙を貼り、柿渋や漆を塗って仕上げた蓋付きのかご。防虫・防カビ効果があり、着物など大切な衣類の収納などに使われてきた

初代は侍から料理人に 150年以上愛される鴨料理

あひ鴨一品鳥安（あいがもいっぴんとりやす）

☎03-3862-4008 MAP P9D1

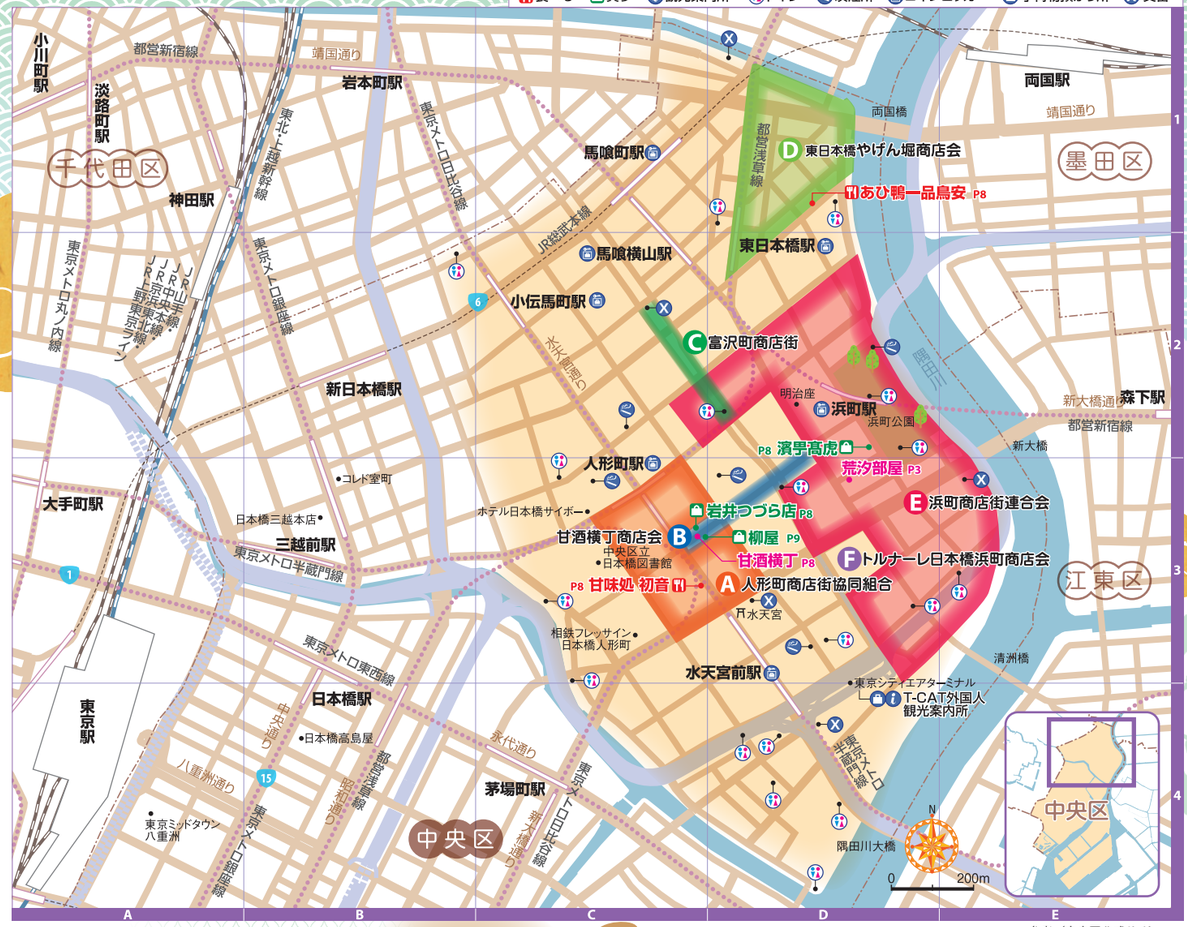
明治5年(1872)の創業以来、相鴨のすき焼きコースのみを提供する料理店。真鴨とアヒルをかけ合わせた相鴨を備長炭で熱した鉄鍋で焼き、おろし醤油で味わうスタイル。鴨の脂で焼いた野菜も絶品！

住中央区東日本橋2-11-7 交地下鉄東日本橋駅B1出口から徒歩5分 時17～21時 休土・日曜、祝日(夏期休業あり)


↑多くの文化人や歌舞伎役者などにも愛されてきた名店


←和の情緒あふれる空間。テーブル席と掘りごたつ席がある


→相鴨すきやきコース1万6986円(サービス料込)。すき焼きのほか前菜や季節の鴨料理などが味わえる



参考／中央区公式サイト


→鯛焼き200円。予約すれば待たずに受け取れる

香ばしくて甘い 熱々の焼き立てをぜひ

柳屋（やなぎや）

☎03-3666-9901 MAP P9C3

大正5年(1916)創業の鯛焼き店。特注の金型に生地を流し、職人が1匹ずつ強火で焼き上げる鯛焼きは、パリッと香ばしい皮とほどよい甘さの餡の組み合わせが絶妙。餡を使ったアイス最中もおすすめ。

住中央区日本橋人形町2-11-3 交地下鉄人形町駅A2出口から徒歩2分 時12時30分～18時 休月・日曜


↑頭からしっぽまで自家製の餡がぎっしり詰まっている！


→甘酒横丁にある人気店。平日でも行列になることが多い

人形町・浜町・東日本橋エリアの商店会(街)

A 人形町商店街協同組合
●にんぎょうちょうしょうてんがいきょうどうくみあい


趣ある逸品や下町情緒が魅力

B 甘酒横丁商店会
●あまざけよこちょうしょうてんかい

何代も続く老舗が軒を連ねる通り。緑地に白抜きで「下町の散歩道　甘酒横丁」と書かれたのぼりが目印。


江戸の下町風情が残る

C 富沢町商店街
●とみさわちょうしょうてんがい

江戸時代から呉服商や繊維商が集まり栄えた地。現在は着物の洗いや和装小物店に加え、飲食店も充実。


富沢稲荷を中心とした町

D 東日本橋やげん堀商店会
●ひがしにほんばしやげんぼりしょうてんかい

中央区の北東の端、隅田川で両国（墨田区）、神田川で柳橋（台東区）に接している東日本橋地域。


江戸時代から賑わう商人の町

E 浜町商店街連合会
●はまちょうしょうてんがいれんごうかい

隅田川西岸にある浜町は、江戸時代には静かな武家屋敷街だった。現在は浜町公園、明治座などがある。


散策や観劇の場として人気

F トルナーレ日本橋浜町商店会
●とるなーれにほんばしはまちょうしょうてんかい

商店会は再開発事業により2005年に建てられたビルの1～2階にあり、スーパー、飲食店、衣料、フィットネスクラブ、歯科医院等がある。





茅場町・八丁堀・湊

全国から物資が集まる港、商人町から証券・金融の街へと発展

江戸城に近く、かつては武家屋敷や警察官にあたる与力・同心の官舎のような組屋敷があった。現在は証券会社が多数集まり、“日本のウォール街”と称される。往時の面影を残す建物なども点在する。



↑社殿は幾度かの改修や屋根の葺き替えを経て現在にいたる

→大正12年(1923)の関東大震災復興と運気上昇を願い奉納された上向きの狛犬

400年以上の歴史をもつ江戸幕府の初代将軍ゆかりの神社

日本橋日枝神社

にほんばしひえじんじゃ

EDO SPOT

☎03-3666-3574 MAP P11C1

天正18年(1590)、江戸幕府初代将軍・徳川家康が江戸城に入城し、御所所がある「八丁堀北嶋(鎧島)祓所」まで船で神輿が神幸されたことに始まる、由緒ある神社。ご利益は商売繁盛、運気上昇、株価好転など。



住中央区日本橋茅場町1-6-16 交地下鉄茅場町駅9・10番出口から徒歩1分 開時休参拝自由(授与所は8～16時)

←石鳥居は永田町にある本社・日枝神社から移設された



↑絢爛豪華な神輿や町名にちなみ兜を飾った山車は見ごたえがある

祭りの主役・神輿と町火消しの資料を展示

EDO SPOT

兜町・茅場町まちかど展示館

かぶとちょう・かやばちょうまちかどてんじかん

☎090-2465-4001(10～19時) MAP P11C2

江戸三大祭りのひとつに数えられる日枝神社の山王祭で担がれる、地元の神輿4基と山車1基を展示。そのほか、江戸町火消しにまつわる資料やこの地域を担っていた「百組」の貴重な写真なども見ることができる。

住中央区日本橋兜町15-3 坂本町公園内 交地下鉄茅場町駅12番出口から徒歩2分 開9～20時 休無休



↑火消しが身にまとった鹿革の半纏や「百組」のしるし、まといなどもある

約670年にわたり引き継がれる日本初の小豆入り饅頭発祥の店

塩瀬総本家 本店

しおせそうほんけ ほんてん

EDO SPOT

☎03-6264-2550 MAP P11C4

日本で初めて小豆餡入り饅頭を作った初代から、代々和菓子を作り続ける。江戸開府と同時に奈良から江戸へ移転し、江戸っ子に愛されてきた。看板の各種饅頭をはじめ、熟練の職人が手がける上品な和菓子が揃う。

住中央区明石町7-14 交地下鉄築地駅3番出口から徒歩8分 開9時～18時30分(日曜、祝日は10～18時) 休無休



↑饅頭や焼き菓子などは徳川家の代々将軍にも愛された

←徳川家康も食したという、極薄の皮で大納言小豆入りの特製餡を包んだ本饅頭4個入り2160円



→将軍にも献上された上生菓子1個551円は、月ごとに異なる種類が登場

店主の職人技が光る本格江戸前鮨

EDO SPOT

鮨うめざわ

すしうめざわ

☎03-6222-8322 MAP P11C3

店主自ら市場へ足を運び、厳選した魚を仕入れる。シャリは赤酢と米酢を独自にブレンドし、素材とのベストなバランスを追求。丁寧な職人の手仕事を生かした、本格的な江戸前鮨が味わえる。

住中央区入船2-6-10 交地下鉄八丁堀駅A2出口から徒歩4分 開12～14時(最終入店13時15分)、17時30分～22時30分(最終入店20時30分) 休月・水・金曜の昼、日曜、祝日



→路地にあり、静かに食事を楽しめる



夜はおまかせ1万3200円～、昼は握り12種+巻物1本(お椀、甘味付き)5500円

行列の絶えない人気ラーメン店

TRENDY SPOT

麺や 七彩

めんや しちさい

☎03-5566-9355 MAP P11C2

注文を受けてから打つモチモチの平麺と煮干しが効いた醤油ベースのスープが特徴。味付けはしっかりながら後味はすっきりで、スープも最後まで飲み干せる。じっくり煮込んだ豚バラと豚もも肉の2種類のチャーシューも美味。

住中央区八丁堀2-13-2 交地下鉄八丁堀駅A5出口から徒歩3分 開11～15時、17～22時(土・日曜、祝日は～21時) 休なし



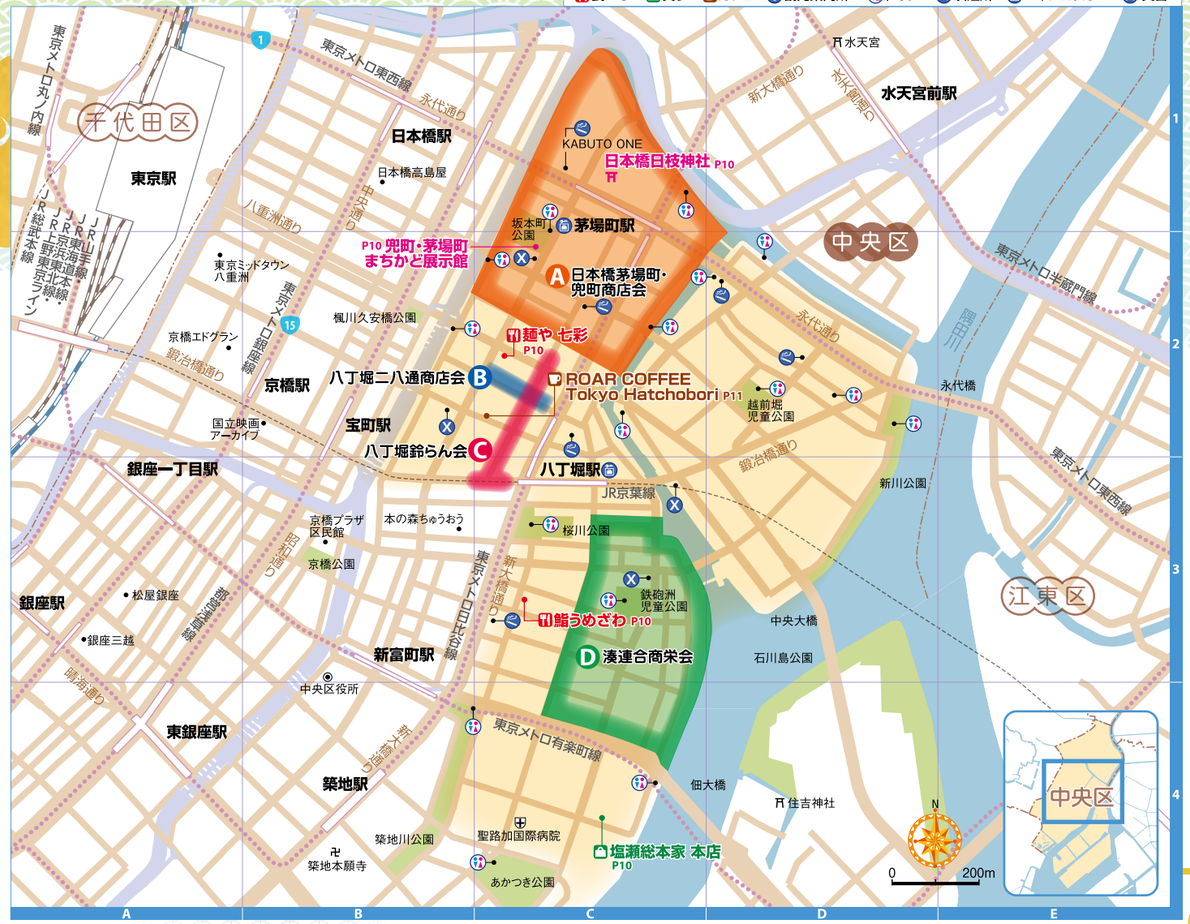
→行列になることも多いので並ぶ覚悟で！



→分厚いチャーシューがドンとのった特製らーめん(醤油)1820円

→動物性不使用のスープ、大豆ミートを使ったヴィーガン坦々麺1500円





参考／中央区公式サイト



→レインボーラテ620円。背景は白か黒か、コーヒー豆も好みで選べる

まるで芸術品のようなレインボーラテアート

ROAR COFFEE Tokyo Hatchobori

ろあー こーひー とうきょう はっちょうぼり

TRENDY SPOT

☎03-5543-6051 MAP P11C2

世界各国から厳選した豆を自家焙煎する、スペシャルティコーヒーの専門店。個性豊かな各種エスプレッソドリンク、ハンドドリップのコーヒーなどが揃うが、日本で初めて提供したというレインボーラテは要注目！

住中央区八丁堀2-19-11 交地下鉄八丁堀駅A5出口から徒歩3分 開8時～18時30分 休土・日曜、祝日





↑シックな八丁堀店のほか、銀座にも2店舗を構える

→レインボーラテを作る様子に目を奪われる

茅場町・八丁堀・湊エリアの商店会

A 日本橋茅場町・兜町商店会
●にほんばしかやばちょう・かぶとちょうしょうてんかい
証券会社が多数集まる日本橋茅場町・兜町地区は有数のビジネス街。毎年ハロウィンの開催などで賑わう。



ビジネス街のオアシス

B 八丁堀二八通商店会
●はっちょうぼりにはちどおりしょうてんかい
八丁堀の鈴らん通りから西側に入る「二八通り」沿いの商店が中心。季節ごとの装飾が楽しい。



空が見える“ほっとする空間”

C 八丁堀鈴らん会
●はっちょうぼりすずらんかい
茅場町との境界から京華スクエアのある八丁堀3丁目まで、ほぼ南北に延びる鈴らん通り沿いの商店が加盟。



昼間はビジネスマンで大賑わい

D 湊連合商栄会
●みなとれんごうしょうえいかい
隅田川に面した湊は明治時代、水路輸送の要として栄え、戦後からは印刷業関連や商店が増え賑わう。



催し事の協賛などで元気な街

築地（つきじ）・新富（しんとみ）

江戸時代に埋め立てられた食文化を支える人気エリア

明暦の大火（1657年）以降に埋め立てられた築地は、活気に満ちた食の街。かつて歌舞伎の劇場「新富座」があった新富町には、当時の面影を残す建物などが残されている。



➔問屋街なので、プロの邪魔にならないよう注意を

災難を払い 荒波を乗り切る 築地の守り神

波除神社（なみよけじんじゃ）

☎ 03-3541-8451

MAP P13C3



EDO SPOT

↑波除稲荷の大神様のご利益をいただく、はだ守り1000円



↑社殿は国産の檜を用いた神明造

築地の埋め立てが行われた江戸時代、荒波により工事が難航したため、この地に社殿を建てたところ波が収まり工事が進んだと伝わる。以来、「人生の厄災を除き、荒波を乗り切る」ご利益を求めて参拝者が数多く訪れる。

住中央区築地6-20-37 交地下鉄築地市場駅A1出口から徒歩5分 開休参拝自由（社務所は9～17時）



↑新鮮な魚介類を楽しもう



↑本格的な調理道具も購入できる



↑玉子焼きを作る様子なども間近に見られる

EDO SPOT

散策も楽しい 活気あふれる食の宝庫

築地場外市場（つきじじょうがいしじょう）

☎ 03-3541-9444（築地食のまちづくり協議会） MAP P13B3

江戸時代に埋め立てられ、のちに日本橋から魚河岸が移転し問屋街として発展。今では新鮮な魚介をはじめ、乾物、料理道具などの店が連なる人気スポットに。寿司店などの飲食店も多く、グルメやショッピングが楽しめる。

住中央区築地 交地下鉄築地市場駅A1出口、地下鉄築地駅1・2番出口から徒歩1分 開休店舗により異なる

Check! 築地のマナー8箇条

マナーを守って場外市場を楽しもう！

1. 9時までは プロの仕入れが優先
2. 食事は店内か 店舗前で！
3. 大きな荷物は コインロッカーへ 預ける
4. 路地が多いので 少人数で動こう
5. 写真は撮る前に 店の人に許可を もらおう
6. 食品には さわらないこと
7. 値切りの習慣は なし！
8. タバコは喫煙所で 吸うこと



ギリシャ文化の影響を受けた ガンダーラ式建築

明暦の大火により築地に再建された 創建400年を誇る寺院

築地本願寺（つきじほんがんじ）

☎ 0120-792-048（コンタクトセンター） MAP P13C2

EDO SPOT



↑本堂は伝統的な日本の浄土真宗の様式

京都の西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派の寺院で、本堂は昭和9年（1934）落成。本堂や正門などは、平成26年（2014）に国の重要文化財に指定された。敷地内にはカフェやショップなどもあり、仏教を身近に感じられる。

住中央区築地3-15-1 交地下鉄築地駅1番出口からすぐ 開拝観無料 開6～16時 休無休



↑「築地本願寺カフェ Tsumugi」では、本堂を眺めながら食事や和スイーツが楽しめる（開8～18時 休無休）



↑伝統芸能の種類によって足袋の種類も異なる



↑足袋の型取りや仕上げに使う道具類

神社仏閣や歌舞伎の 珍しい足袋を展示

EDO SPOT

足袋の博物館（たびのはくぶつかん）

☎ 03-3551-0896（大野屋總本店） MAP P13C1



↑大正時代（1912～1926）に建てられた木造店舗もみどころ

安永年間（1772～1781）創業の足袋専門店「大野屋總本店」の一角にある小さな博物館。歌舞伎などで使用されるものや鹿革で作られた昔の足袋、足袋作りの道具などを見ることができる。

住中央区新富2-2-1 交地下鉄新富町駅2番出口から徒歩3分 開入館無料 開9～17時 休土・日曜、祝日



➔カラフルな芝居用の足袋



職人になった気分で 自分の手で寿司を握る！

築地玉寿司 寿司にぎり体験（つきじたまずし すしにぎりたいけん）

☎ 03-3541-0001（玉寿司本社 平日11～17時）

MAP P13C2

創業100年を超える寿司店で実施する、寿司にぎり体験。ラグジュアリーコースでは、にぎり＆手巻きに挑戦するほか、本ワサビを鮫皮おろしで擦っていただける。最後は職人が目の前で握った寿司を堪能。



➔自分で握った鮨と職人が握った鮨の食べ比べも！

↑職人指導のもと、貴重な体験ができる

体験店舗：鮨 本店上ル

住中央区築地1-9-4 築地玉寿司本店2階 交地下鉄築地駅4番出口から徒歩3分

料金：ラグジュアリーコース1名2万7500円

※日曜、祝日は休日料金あり（1回2～12名）

※7歳以上対象

開催日時：11・13時（所要90分）※日本語での対応となるが、ガイド同行のない海外の参加者には通訳スタッフが対応します（別途料金・要事前申込み）

申込方法：公式サイトよりフォームに記入の上送信

※築地玉寿司晴海通り店（MAP P13B2）では、プレミアムコース（1名1万6500円）、スタンダードコース（1名1万1000円）も実施



➔天然のミネラルやビタミンが豊富な出汁は体にもいい

和食を支える調味料・出汁を コーヒーのようにカップで

THE DASHI STAND（ざ だし すたんど）

☎ なし MAP P13B2

「出汁マイスター」の資格をもつ店主が、厳選した昆布やカツオ節などから取った出汁を提供。食塩不使用で素材のうま味を最大限に引き出した出汁は、奥深い味わい。定番の極DASHIのほか、日替わりメニューや出汁スイーツなども。

住中央区築地4-7-5 築地KYビル1階 交地下鉄築地駅2番出口から徒歩3分 開9～15時 休水・日曜、祝日



↑極DASHIはレギュラー648円～。出汁を引いた後の昆布やマグロ節を使ったおにぎり1個378円



➔店舗前の椅子に座って味わうこともできる



築地のことなら「築地場外市場総合案内所 ぶらっと築地」へ！

MAP P13B3

築地場外市場のマップ配布や観光情報を発信。分からないことがあればスタッフに相談してみよう。英語対応可。

住中央区築地4-16-2 千社額棟 交地下鉄築地市場駅A1出口から徒歩1分 開8～14時（水・日曜、祝日は10時～） 休無休

↑外貨両替機、免税カウンターもある

↑オリジナルのマグロTシャツも販売

参考／中央区公式サイト

築地・新富エリアの商店会（街）

A 築地場外市場商店街振興組合

●つきじじょうがいしじょうしょうてんがいしんこうくみあい



多彩なイベントで地元を元気に

B 築地共栄商業協同組合

●つきじきょうえいしょうぎょうきょうどうくみあい



築地四丁目交差点西側角にある

C 新富商栄会

●しんとみしょうえいかい

昭和27年（1952）発足。いち早くスタンプシールを発行するなど進歩的な商店会。お客様サービスに取り組む。



老舗と個性派新店舗が協力

月島（つきしま）・勝どき（かちどき）



レトロな建物や路地裏散歩も楽しい 下町のウォーターフロント

正保元年(1644)に埋め立てられて誕生した佃島など、川と運河に囲まれた人工の島。古い建物が現存するなか、超高層マンションが立ち並ぶ歴史と未来が交差する町。

石川島から発展した、日本の造船業と重工業の変遷をたどる

石川島資料館
いしかわじまりょうかん

EDO SPOT

☎ 03-5548-2571 MAP P15D1

日本の近代造船業発祥の地とされる石川島は、江戸幕府の命により水戸藩が造船所を創設した地。資料館ではジオラマ模型や図面などの資料を展示し、造船業の興隆や、地域の歴史・文化を今に伝える。

住中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア1階 交地下鉄月島駅6番出口から徒歩6分 料入館無料 時10～12時、13～17時(入館は～16時30分) 休日～火・木・金曜



❷「石川島」の名の由来となった江戸時代の旗本・石川重次が着用した鎧



❷民間初の蒸気船「通運丸」の、造船シーンを再現したジオラマ模型



❶創建は正保3年(1646)と古く、境内には中央区の有形文化財も保管

海の安全を守護する 徳川家康ゆかりのパワースポット

住吉神社
すみよしじんじゃ

EDO SPOT

☎ 03-3531-3500 MAP P15C1

江戸幕府の初代将軍・徳川家康ゆかりの神社。海の中から現れたと伝わる住吉三神を祭り、海上安全・大漁祈願など海の守護神として信仰を集める。3年に一度の本祭り(8月)では、神輿を船に乗せる船渡御などが行なわれる。

住中央区佃1-1-14 交地下鉄月島駅6番出口から徒歩5分 料時休参拝自由(社務所は8時～16時30分)



❶手を清める水盤舎の欄間の浮彫は、佃島の船や磯がモチーフ

江戸の嫁入り道具にも使われた漆器や、銘木の箸をみやげに

漆芸中島
うるしげいなかじま

EDO SPOT

☎ 03-3531-6868 MAP P15C1

江戸漆塗りの伝統を受け継ぐ店。漆を何度も塗り重ね、3カ月以上かけて手作業で仕上げるアクセサリーや器を販売。コンニャクがつまめるほど使いやすい江戸八角箸も人気で、漆を塗らずに銘木の色艶を生かしている。

住中央区佃1-4-12 交地下鉄月島駅6番出口から徒歩5分 時10時30分～17時 休無休



❶幻青黒檀など希少な銘木を使った江戸八角箸。上から紫檀(女性向)5500円、縞黒檀(女性向)5500円、縞黒檀(男性向)5500円。箸置き(縞黒檀)660円



❶木を削るなど、伝統工芸士がすべて手作業で仕上げる



❶漆器アクセサリーブローチ1万6500円



天安昆布550円/100g、かつお角煮850円/100gなど、100gから量り売り。ごはんのおともはもちろん、カナッペやチーズにのせておつまみにしても美味

現存する最古の佃煮専門店 日持ちがよく遠方のみやげにも

天安本店
てんやすほんてん

EDO SPOT

☎ 03-3531-3457 MAP P15C1

佃島で生まれた江戸・東京のローカルフード「佃煮」は、小魚や昆布などの海産物を醤油やザラメで甘辛く煮込んだ保存食。天保8年(1837)の創業以来、継ぎ足して作る秘伝のタレは、ほどよい甘さと塩気が魅力。

住中央区佃1-3-14 交地下鉄月島駅6番出口から徒歩5分 時9～18時 休無休

❸3品詰合わせ1100円など、箱入りのセット商品もおすすめ



❸和の風情たっぷりな、瓦屋根の伝統的な木造建築

自分で焼いて楽しむ 東京・下町のソウルフード

月島もんじゃストリート
つきしまもんじゃすとりーと

☎ 03-3532-1990
（月島もんじゃ振興会協同組合） MAP P15C2



❶海鮮や肉などさまざまな具が選べる。写真はもちと明太子とチーズのもんじゃ焼き



❶もんじゃ焼きの専門店がズラリと並ぶ

「もんじゃ焼き」の店が70軒近く並ぶグルメストリート。子どもが文字を学ぶために鉄板で生地を焼いたのが始まりとされ、月島では各店が工夫をこらした個性的な「もんじゃ焼き」が楽しめる。

住中央区月島 交地下鉄月島駅7番出口から徒歩1分 料休店舗により異なる



もんじゃ焼きってなに？

水で溶かした小麦粉をウスターソースなどで味付けし、具材をトッピング。その生地を鉄板で焼く料理。たっぷりのキャベツに、魚介や肉など具沢山。好みの焼き加減で、小さなヘラで"はがし"て味わう。



参考／中央区公式サイト



❶月島と築地を結ぶ橋。渡船にかわる交通手段として誕生

国の重要文化財である 優美なアーチ橋

勝鬨橋
かちどきばし

☎ 03-3543-5672
（かちどき 橋の資料館） MAP P15B2

隅田川に架かる全長246mの橋で、昭和15年(1940)の完成時には東洋一の可動橋と称された。かつては大型船が通る際に開閉していたが、昭和45年(1970)を最後に停止。夜は美しくライトアップされる。

かちどき 橋の資料館
かちどき はしのしりょうかん

☎ 03-3543-5672 MAP P15B2

住中央区築地6-20-11 交地下鉄勝どき駅A4出口から徒歩8分 料入館無料 時9時30分～16時30分(12～2月は9～16時) 休月・水・日曜



❶開いた状態の橋の模型や、実際に使われていた発電設備などを展示

月島・勝どきエリアの商店会(街)

A 月島西仲共栄会商店街振興組合
●つきしまにしなかきょうえいかいしょうてんがいしんこうくみあい

渡し船の船着き場に近いことから商いの場として早くから発展。古い街並みを活かしながらイベントを開催。



もんじゃが人気のアーケード街

B 月島誠栄商業協同組合
●つきしませいえいしょうぎょうきょうどうくみあい

月島２号地として埋め立てた地域にある商店街。勝鬨橋のたもとにあり、飲食店が中心となっている。



昔ながらの商店街

C 勝どき商栄会
●かちどきしょうえいかい

勝どき駅付近から豊海まで、広範囲にわたる商店が連携する商店会。地域の人々との交流を大切にしている。



地域密着の商店会

D 勝どきサンスクエア商店会
●かちどきさんすくえあしょうてんかい

平成8年(1996)に完成した都市再開発ビル「サンスクエア」の地下1階、1階、2階に入店する商店会。



都営大江戸線勝どき駅直結

旅のマナー



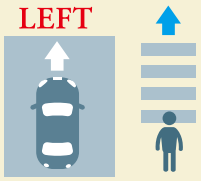
移動中



譲り合いが大切。座席に荷物など置かず、1人でも多くの人が座れるようにしましょう。



電車やバスなどの公共交通機関では、携帯電話をマナーモードに。通話は電車やバスを降りてから。



道路を横断するときは、横断歩道をわたりましょう。自動車や自転車は車道の左側通行が基本です。

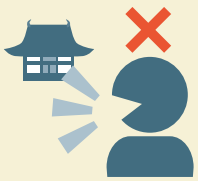


中央区内では公共の場所での歩きタバコは禁止。吸うときは喫煙スペースで。



道路にゴミを捨てないでください（ポイ捨て禁止）。ゴミは、所定の場所に捨てるか持ち帰りましょう。

観光



施設では他の人たちへの心配りを。なるべく小さい声で話して。

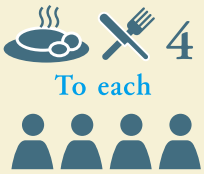


施設内では撮影・録音ができない場合も。事前に確認を。

食事



レストランの予約時間に遅れそうなときは店に電話で連絡を。万が一キャンセルする場合は早めに店に連絡を。

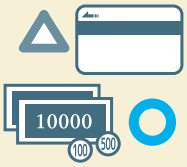


レストランで注文をするときは、最低でも人数分の注文を。

ショッピング



商品に触れたり試着したりする前に、店員に声をかけましょう。



店舗によってはクレジットカードが使用できない場合も。現金（日本円）も用意して。

宿泊



大浴場では日本流の入り方を。湯船に入る前に必ず体を洗い、湯船にはタオルを巻いて入らない。



外国人観光客向け お役立ち情報

Information Center



着物の着付けなども体験できる

中央区観光情報センター

ちゅうおうくかんこうじょうほうせんたー

☎ 03-6262-6481 MAP P7C4

中央区の魅力を発信するインフォメーションセンター。多言語による対面の観光案内やタッチパネル端末など、外国人旅行者に便利なスポット。

住中央区京橋2-2-1京橋エドグラン地下1階、1階の一部 交地下鉄京橋駅直結 時9～21時 休無休（ビルの全体館等を除く）

簡体字

繁体字

韓国語

発行　中央区商店街連合会
企画・編集・制作　JTBパブリッシング
©2025中央区商店街連合会／
JTB Publishing,Inc. All Rights Reserved.

※本誌掲載のデータは2025年5月末のものです。発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。※本誌掲載の入園料などは大人料金を掲載しており、原則として取材時点で確認した消費税込みの料金です。※定休日は原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。※利用時間は特記以外原則として開店（館）～閉店（館）です。オーダーストップや入店（館）時間は通常閉店（館）の30分～1時間前ですのでご注意ください。※交通の所要時間はあくまでも目安です。天候の影響や季節により変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問合せください。※本誌に掲載した地図の作成にあたっては、国土地理院数値地図（国土基本情報）を加工しています。